

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年10月22日～10月28日)

平成 27 年 (2015 年) 10 月 30 日

H E A D L I N E S

政治

総選挙にてPiSが勝利、一党単独政権発足へ
シェモニャク副首相兼国防相、ブルガリア国防相と会談
米軍車輦縦隊のポーランド通過
ドゥダ大統領、フランスを訪問

経済

農業生産高が8年で3割増
EU基金がワルシャワの都市インフラに
9月の失業率は9.7%
ポーランドのビジネスランキングが上昇ー世銀調査
EU基金によりエネルギー安全保障が強化
大統領が京都議定書ドーハ改正批准を拒否
ポーランドの再生可能エネルギー発電の予測

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

総選挙にてPiSが勝利、一党単独政権発足へ【25日】

25日、任期満了に伴うポーランド総選挙(下院460議席、上院100議席)が行われ、最大野党「法と正義」(PiS)が下院議席の過半数となる235議席を獲得し、1989年の体制転換後初めての一党単独政権を発足させる見通しとなった。今次総選挙の投票率は50.92%であり、下院においては、PiSの他、市民プラットフォーム(PO)が138議席、「クキス'15」が42議席、「リシャルド・ペトルの近代」が28議席、農民党(PSL)が16議席、ドイツ少数民族党が1議席を獲得した。また、上院においてもPiSが61議席を獲得して第一党となり、それにPOの34議席、PSLの1議席が続ぎ、無所属議員が4議席を獲得した。なお、今次総選挙では、選挙連合・統一左派(ZL)の投票率が足りライン(8%)に届かず、体制転換後初めて旧共産党系の政党が国会から姿を消すこと

なった。

25日の出口調査結果の発表直後、PiSのカチンスキ党首は、故カチンスキ大統領に勝利を報告したい、今次勝利はポーランドの民主主義において特別な一党による勝利である、ポーランドを変革したい全ての人に協力の手を差し伸べたい旨述べた。一方、POのコパチ党首(首相)は、今回POに投票してくれた有権者に感謝する、PO政権による8年間は無駄ではなく、ポーランドの状況は改善・発展した、勝者に祝意を表したい旨述べた。

今後は、まず総選挙後30日以内に大統領が上下両院を招集し、右召集から14日以内に、大統領による首相の指名、首相による組閣、大統領による内閣の任命が行われる予定。その後、新内閣は下院に活動計画を提出し、下院の信任を得る必要がある。なお、27日、PiSは幹部会にて、シドウオ副党首を同党の首相候補とすることを確認している。

外交・安全保障

シェモニャク副首相兼国防相、ブルガリア国防相と会談【22日】

23日、ワルシャワにおいて、シェモニャク副首相兼国防相は、ネンチェフ・ブルガリア国防相と会談を行い、二国間での国防教育及び空軍分野での協力及びワルシャワで来年開催されるNATO首脳会合について協議を行った。また、両国防相は、MiG-29型戦闘機に関する修理等の協力をビドゴシチ近くの空軍基地で行うことを合意した。

米軍車輦縦隊のポーランド通過【23日】

東欧地域(リトアニア、ラトビア、エストニア及びポーランド)で訓練を行っていた約200名の兵士を乗せた40台の米軍の車輦縦隊が欧州での基地であるイタリアへ向かうため、数日中にポーランドを通過すると国防省が発表した。本車輦縦隊が参加していた

訓練は、ロシアのウクライナにおいての違法な活動に対する応答として実施されており、米国の欧州安全保障に対するコミットメントを示すものであった。

ドゥダ大統領、フランスを訪問【28日】

28日、ドゥダ大統領は、パリを訪問してオランド仏大統領と首脳会談を行い、主に二国間関係、ワイマール・トライアングル(ポーランド・仏・独)協力、COP21、ミンスク合意を含むウクライナ和平問題、シリア紛争につき意見交換した。同大統領は、ウクライナ問題に関し、ポーランドはウクライナによる自国の国境管理が回復すること及びミンスク合意が履行されることを重視している旨述べた。また、同大統領は、難民問題に関し、難民が近隣諸国にて尊厳ある避難生活をおくり、将来的に母国に戻れるよう財政支援を強化することが重要である旨述べた。

経 済

経済・財政政策

農業生産高が8年で3割増【22日】

サビツキ農業大臣は、ポーランドの農業生産高が過去8年で30%増加、EUに加盟後は40%増加していると発言。同大臣は、EUには主に鶏肉、リンゴ、マッシュルーム等を輸出、EU域外にも既に73カ国の市場を開拓したと発言。

EU基金がワルシャワの都市インフラに【23日】

2007-2013年分のEU基金の使用期限が本年末に迫る中、本来予定されていた鉄道関係のプロジェクトの遅延のため、インフラ開発省がかわりに都市インフラに同基金を振り向ける予定との報道。これにより首都ワルシャワの地下鉄延長や、市電の路線増設等が予定されている。

マクロ経済動向・統計

9月の失業率は9.7%【23日】

中央統計局(GUS)によれば、9月の失業率は9.7%で8月の9.9%からさらに減少、昨年同月の11.

5%から大きく改善した。労働大臣は失業率の改善は季節要因ではなく継続的傾向であり、ポーランドの官民合同の達成と評価。

ポーランド産業動向

ポーランドのビジネスランキングが上昇―世銀調査【28日】

世界銀行が発表したビジネスのしやすさに関する報告書「ビジネス環境の現状2015」によれば、ポーランドは189カ国中25位であり、前回32位から上昇した。世界銀行の専門家は、評価された点として、電

力網への接続と納税方法が簡易であることを挙げている。また、今後の課題として、新たなビジネス立ち上げの拠点整備や法的手続にかかる時間を半分にできるようにするため、商事裁判所の設置を挙げている。

エネルギー・環境

EU基金によりエネルギー安全保障が強化【23日】

2007-2013年EU基金によりLNG(液化天然ガス)ターミナル、風力発電所、送電網、ガスパイプライン等が整備されるとともに、560の公的施設で暖房網が近代化され、エネルギー安全保障全般が強化されたとの報道。EU基金を用いてエネルギー関係で最も多くのプロジェクトを実施しているのはLubelskie 県(95件)、続いて Mazowieckie 県(91件)、Slaskie 県(87件)。

社会的コストを精査する必要があるとのこと。

大統領が京都議定書ドーハ改正批准を拒否【27日】

26日、ドゥダ大統領は京都議定書ドーハ改正を批准するための国内法に対する拒否権を発動。大統領府によれば、ポーランドの経済に対する影響や

ポーランドの再生可能エネルギー発電の予測【27日】

国際再生可能エネルギー機関(IRENA)の発表した報告書によると、2030年におけるポーランドの電力供給に占める再生可能エネルギーのシェアは、およそ38%に達する可能性があるという。バイオマスが最も重要なエネルギー源として期待されており、次に洋上風力とされている。この報告書は世界全体の再生可能エネルギーによる発電を2030年までに36%まで拡大するための各国のロードマップを示している。

大使館からのお知らせ

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

〔開催中〕展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

〔開催中〕展覧会:「俳優, 人形, 影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面, 服装, 小道具, 楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

〔開催中〕ポーランドの日本美術傑作展 【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 根付や屏風, 着物, 楽器, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

〔開催中〕展示会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて, グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 茶道具, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: シロンスク県, グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a

詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

〔予定〕日本文化デー ウッチ2015 【11月3日(火)～7日(土)】

ウッチ市にて, 梅田良忠教授記念 ポーランド日本語教育文化センター主催による『日本文化デー ウッチ2015』が開催されます。日本の映画上映のほか, 折り紙, 書道, 伝統的な遊びなどの日本文化紹介が予定されています。

開催場所: ウッチ県, ウッチ市, ul. Plac Wolności 14

詳細: <http://bunka.org.pl/index.php?lang=en>

〔予定〕日本の舞踏家 【11月4日(水)～8日(日)】

ワルシャワ市にて, ポンプカ基金主催による公演シリーズ『日本の舞踏家』が開催されます。舞踏家の大野慶人氏がポーランドを訪問し, 以下の行事が予定されています。

4日 20時半 「舞踏の本」展示会オープニング (スタジオシアター)

5日 18時半 出演「花と鳥。舞踏: 人生の道」(スタジオシアター)

7日 10時 ワークショップ (スタジオギャラリー)

8日 10時 ワークショップ (スタジオギャラリー)

8日 18時 パネル (アジア太平洋博物館)

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市

スタジオシアター, ul. Plac Defilad 1 (文化科学宮殿)

スタジオギャラリー, ul. Plac Defilad 1 (文化科学宮殿)

アジア太平洋博物館, ul. Solec 24

詳細: <http://www.fundacijapompka.org.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。
報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。
記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）